



### 関西奄美会創立100周年

関西奄美会創立100周年を祝う記念式典及び芸能大会が、4月16日に尼崎市で開催されました。同会の節目を祝って、奄美群島9地区から有志が集まり、各地区の伝統芸能を披露。知名町からは田皆ヤッコ保存会の皆さんが参加しました。このほか、奄美出身の歌手や団体がステージを演出し、会場は奄美一色で盛り上がりました。



### 初の通信制大学が開校

「星槎大学サテライトカレッジin沖永良部島」の開講式及び入学式が、4月18日にあしびの郷・ちなでありました。式には、大学に入学する30～70代の7人のほか、関係者らが多数出席し、沖永良部島初となる通信制大学の誕生を祝福しました。式の最後には、地元有志による島ムニでの「交響曲第九番」も披露され華を添えました。



### 県内初のミニバレー協会が設立

沖永良部ミニバレー協会（元榮淳一会長）が4月1日に設立され、第1回記念大会が、4月22日に知名町民体育館でありました。沖縄県の協会の普及活動を通して、沖永良部島では7年前に沖永良部支部が発足。徐々に競技人口が増えたこともあって沖縄県の協会から独立し、今回新たに鹿児島県初のミニバレー協会が設立されました。



### JAC新型機が初就航

日本エアコミューター（JAC）が、新たに導入した「ATR42-600型機」の初就航セレモニーが、4月26日にえらぶゆりの島空港でありました。会場に集まった関係者らが、新型機の到着を横断幕を掲げて歓迎。セレモニーでは、機長に花束が贈呈されたほか、新型機の利用者に対しエラブユリやエコバックなどの記念品が配られました。



### 大山の恵みに感謝して

第18回知名町植樹祭が、4月29日に大山展望台下などでありました。晴天に恵まれたこの日、植樹祭には上城小の「大山緑の少年団員」や知名・田皆中の生徒、自衛隊、隊友会、その他多くの方が参加。参加者は、大山の恵みに感謝しながら、サクラやハイビスカスなど約200本を丁寧に植樹していました。



### きれいな砂浜を守るため

沖泊海浜公園清掃ボランティア作業が、4月29日にありました。ボランティア作業には、田皆字の関係者や植樹祭に参加したメンバーら約200名が参加。手際の良い作業により、1時間ほどで6トントラック2台と4トントラック1台分の漂流物を回収し、海岸は元のきれいな砂浜を取り戻していました。